

昭和49年度神戸市スポーツ少年団夏季サッカーリーグ

神戸市スポーツ少年団サッカーリーグは、3部・4部（既報）にひきつづき、7月21日より残りの部が行なわれ、1部—上野中A、2部—高倉中B、5部—たちばなA（KSS）6部—高倉中女子、7部—北須磨女子がそれぞれ優勝し、その幕を閉じた。

中学生の部、1部、2部は中体連主催の総合体育会に出場した代表選手を除いての出場だった。中でも日頃公式試合に出場したことがなく、社会体育として行われているサッカースクールAが1部で決勝に進出したのはりっぱであった。

2部では高倉Bが抜群の強さを発揮。この2部で異色のチームは蓮池'74。昨年蓮池サッカースポーツ少年団を出て、中学校に進学したがサッカー部がなく、そこで蓮池の佐賀博教諭が彼らのめんどうをみることにしたが全員が集まっての練習がほとんどできない中で、練習不足ではあったが、草サッカーのうまさが見られ、みごとな準優勝である。

5部では、たちばなA（KSS）が決勝で北須磨Cと壮烈な試合を展開、4—3で伝統ある北須磨を破った。この試合のヒーローは何かといっても、たちばなAのCF和田昌裕くん。決勝の4得点をすべてひとりでたたきこんだのだからすごい。彼はサッカースクールに幼稚園の時から入り、サッカー歴はすでに5年。少しひ弱そうに見えるがボールを持つと相手ゴールへ突進し、スピードをゆるめず右、左どちらの足でもすごいシュートをうつのだ。将来がたのしみな選手のひとり。またたちばなBも3位に入賞。最近月2回の教室ながら、サッカースクールの幼児からのサッカー教育が少しずつ芽を出してきたようだ。

6部は参加チームが高倉中と須佐野中の2チームしかなく、淋しかったが、2試合を行ない高倉が1勝1分で優勝した。

7部はよく練習した北須磨が北五葉Aと引き分けたものの他チームとの対戦で実力を発揮し優勝した。予選その他の結果は別表の通り。

1部戦績（中2・3年）

A組

	本山A	上野A	垂水A	鷹匠A	勝点	点差	順位
本山A		2-1	6-0	7-0	6	+14	1
上野A	1-2		1-1	5-0	3	+4	2
垂水A	0-6	1-1		2-1	3	-5	3
鷹匠A	0-7	0-5	1-2		0	-13	4

B組

	神戸SSA	高倉A	歌敷山A	勝点	点差	順位
神戸SSA		4-2	0-0	3	+2	1
高倉A	2-4		2-1	2	-1	2
歌敷山A	0-0	1-2		1	-1	3

決勝

本山A棄権のためAブロック2位上野A対神戸SSAの試合を後日行う。

上野A 4 (1-1) 1 神戸SSA (3-0)

2部戦績（中1年）

A組

	蓮池'74	上野B	神戸SSB	勝点	点差	順位
蓮池'74		0-3	1-1	3	+1	1
上野B	3-4		2-1	2	0	2
神戸SSB	1-1	1-2		1	-1	3

B組

	布引B	須佐野	本山B	勝点	点差	順位
布引B		3-1	2-0	4	+4	1
須佐野	1-3		2-0	2	0	2
本山B	0-2	0-2		0	-4	3

C組

	高倉B	鷹匠B	神戸大属	勝点	点差	順位
高倉B		7-2	6-0	4	+11	1
鷹匠B	2-7		2-0	2	-3	2
神戸大属	0-6	0-2		0	-8	3

決勝リーグ

	高倉B	蓮池'74	布引B	勝点	点差	順位
高倉B		3-0	3-0	4	+6	1
蓮池'74	0-3		4-0	2	+1	2
布引B	0-3	0-4		0	-7	3

5部戦績（4年）

A組

	たちばなA	蓮池C	東灘C	千歳C	勝点	点差	順位
たちばなA		5-1	3-0	12-0	6	+19	1
蓮池C	1-5		4-0	5-0	4	+5	2
東灘C	0-3	0-4		2-1	2	-6	3
千歳C	0-12	0-5	1-2		0	-18	4

B組

	北 磨	須 磨	たち な	神 台	Y A	M C	勝	点	差	順	位
北 磨			3-1	3-0	7-0		6	+12		1	
須 磨	1-3			0-0	4-0		3	+2		2	
たち な	0-3	0-0			0-0		2	-3		3	
神 台	0-7	0-4	0-0				1	-11		4	

3位決定戦

たちばなB 2 (1-1) 2 蓮池C (1-1) (KSS)

両チーム 3位

決勝

たちばなA 4 (1-1) 3 北須磨C (3-2) (KSS)

6部戦績（中学女子）

第1戦

高倉女子 0 (0-0) 0 須佐野女子 (0-0)

第2戦

高倉女子 2 (2-0) 1 須佐野女子 (0-1)

7部戦績（小女子）

	北須磨	北五葉A	蓮池	北五葉B	明親	勝点	点差	順位
北須磨		1-1	2-1	9-0	5-0	7	+15	1
北五葉A	1-1		0-0	4-0	5-0	6	+9	2
蓮池	1-2	0-0		3-0	5-0	5	+7	3
北五葉B	0-9	0-4	0-3		5-0	2	-11	4
明親	0-5	0-5	0-5	0-5		0	-20	5

（明親は全試合棄権）

第9回読売選抜少年サッカー大会に準優勝

東灘サッカースポーツ少年団

読売新聞社並びに読売サッカークラブ主催の第9回読売選抜少年サッカー大会は、8月14日～15日読売サッカー場で地域を異にする強豪チーム同士の対戦による技術のレベルアップを図ると共に、各チームの親善を果たす為の大会として行われた。

参加チームは、東灘、埼玉下落合、町田SSS、清水、藤枝、藤枝西益津、藤枝青島、金沢、甲府湯田、静岡服織、静岡青葉、横浜選抜の12少年団で、東灘チームの戦績と上位チームは次の通りである。

予選リーグAブロック第一位
東灘0—0横浜 東灘1—0藤枝青島
準決勝
東灘0—0清水（PK戦6—5）
埼玉下落合0—0町田SSS（PK戦）
決勝
埼玉下落合2—0東灘
三位決定
町田SSS 4—3清水

秋季リーグ

3部・7部がはじまる

夏季リーグにひきつづき、秋季リーグがはじまった。夏よりは、さらにいちだんと、たくましく育った少年たちのプレーを、見てやってほしい。

参加チーム

3部

A組 東灘・吾妻B・渦ヶ森B・蓮池A・北須磨
B組 渦ヶ森A・吾妻A・千歳・蓮池B・魚崎

C組 灘・神戸D（KFC、Jr）・千歳B・多井畑・神陵台
D組 成徳・のじぎく（KSS）・北五葉・諏訪山・神戸YMCA

7部（女子）

北須磨・蓮池・北五葉・多井畑
各グループでリーグ戦を行ない、1・2位が決勝トーナメントへ出場する。

日程は9月22日から11月4日まで、毎日祭日とし、会場は御崎少年サッカー場。

戒告・出場停止 市協会綱紀委員会

△魚崎クラブ（市社会人リーグ2部）
昭和50年3月末まで出場停止。
△板垣選手（三菱重工・関西リーグ）
戒告・始末書・三菱重工神戸監督より謝罪文。

7月21日、上記板垣選手は、魚崎クラブ対神戸スポーツマンクラブの試合に於て、魚崎クラブへ替玉出場していたもの。

△是則運輸（市社会人リーグ2部）
昭和50年3月末まで出場停止。

8月11日、川鉄建材との対戦中（磯上グラウンド）、審判の判定に従わない上、審判をとり囲み、暴行したもの。

なお、2部の成績については、上記2チームとの対戦を抹消して行う。

中央球技場だより

10月6日 レクリエーションリーグ

12日 } 総合体育大会

13日 }

27日 学生リーグ

11月3日 日本リーグ2部

12月1日 ヤンマー対古河

15日 天皇杯

22日 西日本OB

28日 天皇杯準決勝

芝はたいせつに育てましょう



参加全チームが入賞を果し、意気あがる神戸フットボールクラブジュニアチーム

神戸サッカー界に曙光、全チームが入賞果す

第四回ジュニア・サッカー・サマー・フェスティバル

去る8月24～26日、御崎中央球技場で行われた第4回ジュニアサッカーサマーフェスティバルは、本年も各グループで静岡県勢が優勝し、サッカー王国健在ぶりを発揮したが、地元神戸の活躍ぶりが目ざましく、1部から4部まで、参加チームすべてが2～3位と入賞を果し、漸やく神戸のサッカーに曙光のきざしがみえてきた。

神戸市サッカー協会技術委員長西邑昌一氏は、この大会を振り返り次のように述べた。

過去の大会に比べて、著しく技術の伸長がみられ、また多くの父兄が駆けつけ、ハーフタイム時に子供を激励したり、指導者が適切なアドバイスを与えたこともあって、選手たちは最後まで試合を捨てず、フェアに戦い、スタンドで観戦する者を感動させた。それはまた、この大会を盛り上げている最も大きな魅力の一つでもある。そこに少年達の「やる気のあるサッカー」「勝負に食いつくサッカー」を見ることができ、日本サッカー界が忘れかけていた大切なものを、教え与えられ新鮮さをおぼえさせるのだ。

サッカーにおいて個人技術の重要性は、あらためて論ずるまでもないが、それらの技術を集結して、チーム全体を目標に向ってまとめあげていくことも、よいサッカーを行なう上に不可欠な要素であり、結局それが勝負を支配することになる。個々の技術をコンビネーションあるいはチームワークに結びつけるものが、各人の気はくの実実度であり、11人の力をひとつにまとめあげるかどうかで指導者の真価が問われる。

各試合を観戦して技術的な面から概評すれば、

- キック力が増し、試合展開に良い効果を与えた。
- ヘディングが多く使われた。
- 動きながらプレーできるようになり、試合が流動的になった。
- ゴールへ直線的に走り込んだり、パスを出すことが多く、縦パスと横パスの組み

この大会に参加した少年たちが、試合に全力を注ぎ、最後まで勝負を捨てないで戦っていった真摯な態度を持ちつづけるならば、少年たちの人間形成に大きく寄与することはもちろんのこと、近い将来、日本サッカー界がバラ色に輝くのも決して夢ではないと思う。また、このサッカーフェスティバルは、その出現が待ちのぞまれていた社会体育の典型的なものであり、よい指導者、すぐれた環境を与えることも、少年達をりっぱに育てあげるための必須条件であることを忘れてはならない。

このジュニアサッカーサマーフェスティバルが、関係各位のご協力を得てますます充実し、少年達のあこがれ登龍門としての存在価値を高められんことを希望してやみません。（神戸市サッカー協会技術委員長）

反省会を開く

9月29日、神戸高同窓会館で、関西協会賀川浩氏を招き、関係者が集まって反省会を開き、来年度はさらに充実した内容で、少年サッカーを育てることを誓い、散会した。

4部（小6）

予選リーグ Aグループ

	藤枝小	神戸D	熊本B	津山	勝点	得点	失点	点得失	順位
藤枝小		3-0	2-1	9-0	6	14	1	13	1
神戸D	0-3		2-1	6-0	4	8	4	4	2
熊本B	1-2	1-2		3-1	2	5	5	0	3
津山	0-9	0-6	1-3		0	1	18	-17	4

予選リーグ Bグループ

	清水B	香川B	広島	四日市B	勝点	得点	失点	点得失	順位
清水B		0-1	2-0	6-0	4	8	1	7	1
香川B	1-0		0-1	1-0	4	2	1	1	2
広島	0-2	1-0		1-1	3	2	3	-1	3
四日市B	0-6	0-1	1-1		1	1	8	-7	4

決勝

Aグループ Bグループ

（1位）藤枝小 2—1 清水B
（2位）神戸D 3—1 香川B
（3位）熊本B 1—2 広島
（4位）津山 1—3 四日市B
順位 ①藤枝小 ②清水B ③神戸D

1部（中3）

	清水A	神戸A	大河	藤枝A	勝点	得点	失点	点得失	順位
清水A		2-0	1-0	7-0	6	10	0	10	1
神戸A	0-2		2-1	6-0	4	8	3	5	2
大河	0-1	1-2		6-0	2	7	3	4	3
藤枝A	0-7	0-6	0-6		0	0	19	-19	4

2部（中2）

	藤枝B	枚方	神戸B	四日市A	勝点	得点	失点	点得失	順位
藤枝B		5-2	5-0	4-0	6	14	2	12	1
枚方	2-5		1-2	5-0	2	8	7	1	2
神戸B	0-5	2-1		0-1	2	2	7	-5	3
四日市A	0-4	1-0	0-5		2	1	9	-8	4

3部（中1）

	藤枝C	神戸C	熊本A	香川A	勝点	得点	失点	点得失	順位
藤枝C		2-2	7-1	2-1	5	11	4	7	1
神戸C	2-2		2-2	1-3	3	8	6	2	2
熊本A	1-7	3-1		3-3	3	7	11	-4	3
香川A	1-2	1-5	3-3		1	5	10	-5	4

神戸店 三宮・そごう百貨店5F